

# 沼田町

## 社会教育委員会だより

令和 7年 3月20日 発行  
発行 沼田町社会教育委員会  
(沼田町教育委員会)  
住所 沼田町南1条4丁目6番5号  
電話 0164-35-2132

沼田町のみなさん、こんにちは！ 私たちは沼田町社会教育委員です。  
私たち社会教育委員の今年度の活動の一部を、時系列に沿ってご紹介いたします。  
また今年度お世話になったみなさんに、この場をお借りしてお礼申し上げます。

【令和6年度 of 社会教育委員 任期 令和8年3月31日まで】

委員長 岡田 和久 / 副委員長 臼井 真由美

委員 堀 直美 / 小山 健次郎 / 寺木 佳奈 / 橋本 恵美 / 佐藤 貴宏 / 小本 拓巳

### 【社会教育委員会】

第1回 5/9、第2回 6/26、第3回 9/25、第4回 10/9、第5回 2/12

### 【主な社会教育事業】

#### 5月25日(土) ~ 自然体験に関する各種事業

「そらち自然学校」への委託事業は年10回の「環境学習プログラム」、夏・冬の「デイキャンプ・宿泊キャンプ」、学校での「自然体験授業」と多岐にわたっています。

#### 5月27日(月) ~ いきいき大学(今年のテーマは「楽しい終活」)

5回講座で終活に関する様々な講座を行いました。恒例の日帰り旅行は久々の札幌へ。

#### 9月12日(木) 子ども文化劇場

隔年で行っている今事業、今回は影絵劇団の公演を小学校にて行いました。

#### 10月16日(水) ~ 沼田っ子の夢応援事業

小学5年生対象の合宿通学事業ですが、最終日のBBQはあいにくの雨模様・・・。

#### 10月26日(土) ~ 町民芸術祭

町民の皆さんの日頃の鍛錬の成果を発表する場になっています。

#### 11月10日(日) 町民交流フェスタ

今回は会場を町民会館に移し、ファミリーコンサートとの同時開催となりました。

#### 1月12日(日) 20歳を祝う会

式典で今後の抱負を述べる若者達の姿は非常にたのしいものでした。

※この他「家庭教育講座」、「北空知シニアリーダー研修会」、「生きがい講座」、「ぬまたっ子サポーター事業」、「芸術文化鑑賞事業」等が沼田町の社会教育事業となっています。

## ■社会教育委員より ～当町の社会教育事業の現状～ ■

【岡田委員長】

「行政が主催するイベントは『人がくれば経済効果がある』などと曖昧なことをすぐに言う。」とある記事の一節です。

目的も実施主体も異なる事業を抱き合わせにして参加者をただ集める。兎にも角にも事業を実施して（事業の趣旨以外について）ほんの少しでもいいことがあるだろうと見通しをする。我が町に当てはまるとすればこんなところでしょうか。

私は社会教育に限ったことではなく、事業は目的を実現する手段だと考えるので、人を集めることに注力し過ぎて趣旨に沿ったかどうか疑問の残る事業については、より効果的になるよう提言したいと思います。

【臼井副委員長】 「今後の社会教育の役割について思っていること」

社会において、学びと学び合いは日常の中にあり、学びと考えると勉強や学習などをイメージしてしまいがちですが、体験・経験・気づき・見聞など様々な形や方法があると思います。地方消滅という未来も囁かれ、少子高齢化・単身世帯の増加、変化が激しく私にとっては予測困難な未来です。今は存在していない職業に今の子供たちが就くことも。

どこにポイントをおいてよいのか？

社会教育の施設の集約化・複合化、町民の意見（子供から高齢者まで）など、地域コミュニティの拠点づくりや賑わいづくりに貢献できればと思います。

【堀委員】 「北空知の社会教育委員との交流」

社会教育委員になってから一番長く年数が経っていますが、最近これからの役割を考えています。今年度から始まった一市五町（深川、沼田、秩父別、北竜、妹背牛、雨竜）の社会教育委員との交流はとても新鮮なものです。互いの交流や活動の現状、考えの共有など刺激を受ける所が沢山あります。沼田は活発だと言われているのは教育委員会の情報発信と町民交流フェスタの取り組みが大きいのではないかと感じます。

交流場所は持ち回りで、妹背牛から始まり秩父別、今回深川市の視察研修である北空知圏給食センター“きたそランチ”の見学と試食でした。子供達に美味しい給食の提供と衛生管理を徹底している姿を拝見し、安心安全な給食の提供に努めていると感じました。

とても有意義な一日でよく学ぶ事ができ、次は沼田での交流会へとバトンが渡されます。

町民交流フェスタも他の市町の委員さんに視察してもらえたらとも考えています。

社会教育は漠然としているようですが、すべてが社会教育に繋がっていると考えるこの頃です。

自然体験事業では幌新の森で  
子ども達が貴重な体験をしました。



### 【小山委員】

今年は特に町民交流フェスタについては、力を入れて取りくんできました。

これまでとは変わって町民会館を使っての開催でしたが、アイデア出しやファミリーコンサートとの同時開催、教育委員会の努力も相まって、結果は大盛況となりました。

反省すべきところは反省し、良いところは伸ばして、さらに「町民交流」を活かしたイベントになっていければと考えております。

### 【寺木委員】

今年度から委員になりました寺木です。社会教育の場とは、それぞれの人が自分の「やりたい！楽しい！」という気持ちを大事にしながら成長していける場ではないかと考えます。今年の町民交流フェスタでは、多くの参加者があり、それぞれの体験ブースで「やってみたい！」という声をたくさん聞くことができました。参加された方が、楽しそうに、あるいは真剣に取り組んでいる姿をみて、社会教育のきっかけづくりになったのかなと嬉しく思いました。

### 【橋本委員】

教育現場にほとんど関わることがなかった私が委員になって初めて知った「社会教育」。学校教育以外の教育活動全般を指す言葉だそうです。生涯現役、年齢問わず学び様々な知識と経験を得て自分の駆動力とすることと私は解釈します。人口減少が進み、現在の地方では何をするにもネガティブな事が目立つかもしれませんが、だからと諦めることを増やしたくない。特に子どもたちには今この瞬間にしかできないこと、沼田町だからこそできることをたくさん経験して蓄え、力にしていってほしい。社会教育委員として一人の大人としてその為のお手伝いが出来たらと思います。

沼田っ子の夢応援事業では  
社会教育委員自らが講師に。



【佐藤委員】 「社会教育委員になって」

今年度から社会教育委員となりました佐藤です。この場をお借りして書かせていただきます。

第1回の委員会にて社会教育委員の役割として「市民感覚の眼差し」と「住民の声の反映」をすることで住民と行政のパイプ役になることを知りました。

社会教育委員として新人ではありますが、最も一般町民に近い社会教育委員として尽力させていただきます。

【小本委員】 「『社会教育』という言葉はご存じですか？」

学校で「教育」という言葉は聞く機会が多いと思います。社会教育とは学校で行われる学校教育や各家庭で行われる家庭教育、自分で行う自己学習以外のすべての時間が社会教育だと私の隣に住んでいる元社会教育委員の先輩に教わりました。

みなさんも何かしらの趣味を持っていると思います。スポーツや読書、流行りのサウナや大人の方はお酒、最近の若い子はSNSが趣味という人も多いと思います。ちなみにうちの双子はけん玉です。（最近はやりがちですが・・・笑）そんな趣味も他人と交わりながら行われる事も多く、その時間から得る人とのつながりや上下関係など何気なく行っている趣味の時間も大切な社会教育と言えるのではないのでしょうか？

皆さんも趣味の時間中にちょっとだけ「社会教育」を意識して生活する良い機会にして頂けると幸いです。



今回の町民交流フェスタは  
町民会館での開催となり大盛況！

来年度もよろしくお願ひいたします。